

2011年度

科目名	文化財研究法2B			
担当教員	犬木 努			
配当	文財2		コード	32112
開期	後期	講時	水曜日2限	単位数 1
授業テーマ	文化財研究の基本を学ぶ(その2)―自己の問題関心を高めるために			
目的と概要	文化財学科に入学して早1年。そろそろ、文化財学(考古学、歴史学、美術史学)の面白さ、難しさがわかってきたことであろう。4月には下級生も入学してきた。のんびりしているとあと3年なんてあっという間である。このあたりで心機一転、自分を見詰め直す作業も必要であろう。後期の授業を通じて、自分が何を学びたいのか、何をしたいのか、そして自分に何が足りないのかを自問してほしい。この授業は、そのためのきっかけづくりの場にしたいと考えている。			
成績評価法	平常点(30%)、授業中の発表内容(70%)などを総合して行う。			
テキスト	使用しない。授業時に適宜プリントを配布する。			
参考書	授業中に適宜指示する。			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	授業中に参考図書を指示された場合には、事前にきちんと読みこなしておくこと。			
講義計画				
「考古学」という学問分野の「厚み」「深さ」を多少なりとも体感してもらうべく、先行研究への正しいアプローチについて習得することを目指す。				
・それぞれ自分の好きなテーマを選び、先行研究についての問題点を整理し発表してもらう。毎回発表形式の授業を行う。				
※授業回数は、後期に隔週で7～8回を予定している。				
※このほか、その時々の新発見を話題にしたり、実際の遺物を用いながら、考古遺物の観察方法にも触れる。				